

令和3年(2021年)4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

日本工業大学に入学された皆さん、学園を代表して心より歓迎し、お祝い申し上げます。そして、ご家族の皆様、おめでとうございます。皆さんは、これから各々の目標に向かって技術を学んでいきます。この宮代キャンパスは、技術を身に付けていくための様々な試みが随所に施されています。研究・実習設備、博物館、そしてキャンパスがまるごとエコミュージアムになっていたり、自分たちがつくりたいものがつくれるスチューデントラボなど、私たちが50余年の歩みの中で、一つひとつ作り上げてきました。そうした環境の中で、豊かな学びをしていただければ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。確かな専門力と豊かな人間性をもち、社会の発展に貢献し続ける実践的技術創造人材を育成する、それが、日本工業大学が掲げる教育目標です。 本学には様々な学修履歴の学生が学んでいます。みなさんは、それぞれ大きなポテンシャル(伸びしろ)を持っています。多様な教育プログラムで、各々の「伸びしろ」をしっかりと成長させる。クォータ制の工学基礎教育で最低限の基礎力は担保する一方、一律の達成目標の到達度だけで評価するのではなく、一人ひとりの成長度合い、努力のプロセスを評価する、それが本

多様なモノ、コトに 技術で解決する力を

成長マインドで 社会課題に挑戦する



理事長 柳澤 章

この一年は、多くリモートでの学びを余儀なくされました。しかし、新しい学び方を先生と学生たちとで模索をし、改善し、前に進めてきました。技術を学ぶということは、前に向かって進むということ



学長 成田 健一

学流の教育の「質保証」の考え方です。 教育に「万能の処方箋」はありません。「在学中に成長を経験した学生は社会に出てからも伸びる」。その信念で目の前の学生に真摯に向き合

と思います。 広いキャンパスは、豊かな緑で覆われています。かつて空に舞う桜が舞っていたのですが、多くの方々の協力を得て、植栽を施し、見違えるようになりました。 他にありません。技術を身に付けるには、何かをつくりだす、よりよいものに立って上げる手立てを自分のものにしていくことです。つくりますのは、工業製品類のモノだけではなく、コトや機会など多岐にわたります。

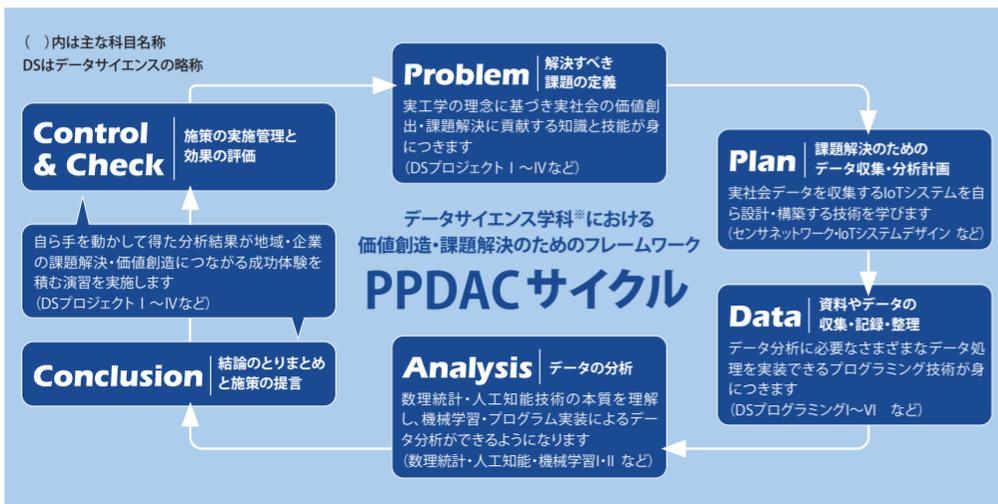
「」が意図する姿です。 だが、新入生の皆さん自身が、用意されたプログラムに積極的にチャレンジする、そういう姿勢がなければ成長に繋げることはできません。「今日はできなかったけれど、努力すればできるようなものを持ち続けること、それが何よりも大切です。

皆さんは、つい先日まで受験を控えた中で様々な不自由な思いをしたことでしょうか。それぞれの環境の中で困難があり、世界中でなおも続いていると言わなくてはなりません。 そうした課題を解決する手段として、技術があります。人がどんな困難に直面しているのかを注視してこそ解決の糸口を持つことができます。

自分の得意なことでも人を笑顔にする、社会課題への挑戦、そんな経験を通してみなさんには4年間で大きく成長してもらいたい、そう願っています。専門力が使いこなせる実感「社会で役に立っている実感」学びが成長につながる実感「そんな実感を皆さんが持つよう、教職員一同は全力でサポートしていきます。

2022年度 データサイエンス学科 設置へ

本年4月、文部科学省へ新学科設置届出書を提出



伝統の「ものづくり力」に加え 「データ分析力」を併せ持つ人材を育成 先進工学部 ロボティクス学科(100) 情報メディア工学科(120) データサイエンス学科(120) 新設 ※ カッコ内は定員 総数は改組前の1000名から990名となる。改組の計画については2020年より文部科学省と協議を重ね、本年4月下旬に届出書を提出するに至っている。 データサイエンスとは 今回の改組における教育改革の柱は、本学が従来から実施してきた社会が求めるものづくり力の育成に加え、データサイエンスの知識や技術を身に付け、実践できる力(すなわち「データ分析力」)を育成する教育を新たに始めることにある。 データサイエンスとは 数理統計の知識や情報技術を駆使して、ビッグデータに代表されるような社会の様々なデータを分析し、社会課題の解決や企業におけるビジネス戦略に有用な知見を得るための学問領域である。 この目的を達成するため、データサイエンス学科を新設し、データサイエンスのエッセンスを各学科に教育展開するデータサイエンスプログラムを開始する。 データサイエンス学科では、データサイエンスの問題解決フレームワーク(PPDACサイクル)に基づいた実践力をつけるためのプログラミング、数理統計、AI、IoT等を学ぶ科目や、学んだ知識をPBL形式で実践する演習科目を配置する(上図)。さらに初等中等教育におけるプログラミング必修化の流れに対応するため、データサイエンス学科に高等学校教科「情報の教職課程を設置する申請を行っている。

※2022年設置構想中。内容は予定であり、変更となる場合があります。

皆様のご入学を心より歓迎します！

教務部長からのメッセージ



先端技術を学ぼう

教務部長・教授 辻村 泰寛

皆さんは大学での勉強をどのように考えていますか？高等学校までとは違い、「専門分野」を学ぶことになりま

す。日本工業大学は3学部・6学科2コースの専門学科を有しています。それぞれの学科には、その分野を専門とする先生方が研究室を構え、最先端の研究をしています。したがって、皆さんも自身が所属する学科・コースにおいて、先端技術を学ぶことができます。そして、その経験は、必ず皆さんの将来に役立つはずです。

しかし、そのような先端技術は一朝一夕には身に付きません。最終的には4学年で研究室に配属されて、卒業研究・卒業製作で総仕上げをして先端技術を修得することができ

ますが、そのためには、専門を学ぶための基礎が極めて重要です。何故ならば、しっかりと基礎が身に付いていないと、本当の意味で先端技術を理解することができないからです。

皆さんには、1学年春学期からクォータ科目として数学、物理、英語を徹底的に学んで、しっかりと基礎を身に付けてもらうことになりま

す。クォータ科目は春学期と秋学期をそれぞれさらに半期に分けて、短い期間で集中的に基礎を学んでもらうため

のものです。入学当初は大変かも知れませんが、4年間で先端技術を学んで、ステップアップするために、是非とも頑張ってください。

学科長・学群長からのメッセージ

先進工学部 ロボティクス学科



学科長・教授 安原 鋭幸

この1年間、皆さんやご家族の方は進学を控えて大変不安に感じ

たことと思います。さまざまな制約がある中で、人との関わり

の大切さを再認識した年

です。一方、社会は一人

で解決できないことが

多くなり、人との関わりを極める「智慧(ちえ)」という言葉が

あります。大学生活はグループワーク、部活動、研究などを通して、人との関わりを学ぶ社会的縮図です。両方の「ちえ」を意識して学び、充実した大学生

活を過ごしていただくことを期待しています。

二つの「ちえ」を意識して

講義で学修します。学年進行に伴い、機械電気、情報について一通り学べるように授業計画が組まれ、授業によって得られる多岐に

亘る知識は、将来における問題解決の助けとなる知恵となります。

一方、社会は一人で解決できないことが多くなり、人との関わりを極める「智慧(ちえ)」という言葉があります。大学生活はグループワーク、部活動、研究などを通して、人との関わりを学ぶ社会的縮図です。両方の「ちえ」を意識して

学び、充実した大学生活を過ごしていただくことを期待しています。

先進工学部 情報メディア工学科



学科長・教授 石原 次郎

先日、喫茶店で本を読んでいたら、隣のテーブルで老人たちが

牡蠣の話をしていました。彼らの会話に耳を傾けてみると、旧日本軍によって満州に持ち

込まれた牡蠣が、いまもモンゴル東部の塩湖で養殖されているらしい、そして養殖が軌道に乗り日本にも輸出される、という内容でした。海よりも少

モンゴル牡蠣とネット検索

塩分濃度が高いその湖で育った牡蠣は、味が芳醇で身も引き締まった逸品なんだとか。気になった私はスマホで検索したのですが、モンゴルの牡蠣に関する情報は一向にヒットし

ません。最新すぎてネットが追いついていないのか、それともただの与太話なのでしょうか。大学の4年間は、真の情報に近づく手法を手に入れる時間です。ぜひ、ネットに頼ることなく、地道な検証を重ねて新しいことを発見してください。

というところで、私の代わりになかなかモンゴルに行くと牡蠣の真相を...

建築学部 建築学科



学科長・教授 三坂 育正

皆さんは、コロナ禍で、これまでと全く異なる受験を乗り越えて入学されました。この1年で社会は大きく変わったように思いますが、特に、リモートやオンラインでの会議・授業等が増えることで、建築に求められる要素も大きく変わりました。Withコロナ、Afterコロナと呼ばれる社会で求められる空

変化に適応できる柔軟な思考を！

間について、改めて考える必要があります。新型コロナウイルスだけでなく、気候変動や高齢化社会の到来など、社会は大きく変化しています。特に、リモートやオンラインでの会議・授業等が増えることで、建築に求められる要素も大きく変わりました。Withコロナ、Afterコロナと呼ばれる社会で求められる空

間は、先を進めるように支えます。学びたいこと、工夫もしています。主役として遠慮なくのびのびと、新たな学び、新たな出会いを楽しんでください。

基幹工学部 機械工学科



学科長・教授 二ノ宮 進一

私達の暮らしを豊かにする様々な機械。時代に合わせて日進月歩で発展しています。これらを生み出す先進的な研究や開発の未来を支えるのは新入生の皆さんです。研究は、正解を自分自身で創出するものであり、これが独創的なイノベーションにつながる

ます。高校生までの学びは、正解が決まっています。正解が決められて

社会に役立つ機械系エンジニアに

た教育が中心でした。今後は、新たな分野を切り拓く時代に向かう学びが必要です。機械工学を学術基盤として、普遍的な学問を勉強しつつ、新たな分野にも柔軟に対応できる能力を磨いて欲しいと願っています。

本学科のカリキュラムは、伝統と最先端が融合しています。経験豊富な教員による指導は、皆さんを実践力に優れた機械系エンジニアへと導きます。

実工学の理念を理解して、一緒に切磋琢磨して、社会に役立つ技術を生み出す素養を身に付けましょう。さあ第一歩です。

基幹工学部 電気電子通信工学科



学科長・教授 吉田 清

皆さんは将来の夢や希望を持って入学しましたか？大学の学びには、夢を持つことが必要です。夢は、学びの原動力になるはず

です。学問は人から押しつけられるものではなく、自ら取り組む姿勢が必要です。本学科では、講義や実験・実習を通して基礎から段階的に技術の理解が進むようにカリキュラムを

夢の実現に向かって

構成しています。また1学年から研究に取り組むことができる科目も用意しています。

電気・電子・通信分野の裾野は幅広く、将来どんな分野の仕事で社会に貢献したいのか、学生生活の中で様々な夢を膨らませてください。講義以外でも、クラブやサークル活動、社会貢献活動などを通して、価値観や考え方の違う人と積極的に接してみてください。人との関わりの中で人間性が豊かになり、また自分の可能性が再確認できると思います。

学科の教員は夢の実現に向かって努力する皆さんを応援します。

基幹工学部 応用化学科



学科長・教授 大澤 正久

応用化学科へようこそ。私たちの身の周りの物は、全て原子、分子から構成される化学物質です。皆さんは、これらの4年間この身近な物質について「成り立ち、性質、あるいは作り方を学修するのです。1~2学年には基礎化学を身に付け、3~4学年には応用的領域を学びます。4学年に

サイエンス 化学を楽しもう！

は最先端の卒業研究に取り組みことで、基礎知識のみならず、社会で活躍するためのより実践的知識と技術を習得することができま

す。本学科では、卒業研究として医薬品、食品から半導体、次世代エネルギー素材まで、化学を基盤とする多彩なテーマから選択することができ

ます。難しく考える必要はありません。皆さんそれぞれが、一番興味がある領域について、研究を楽しめばよいのです。化学が好きで皆さんが充実した4年間を送れるよう学科教員がサポートします。

共通教育学群

新たな学び 主役はあなた



学群長・教授 佐藤 杉弥

共通教育では広範な科目群を提供しています。学習全般や社会人としての基盤をかため、多様な工学専門に共通で必須の基礎を理解し、人や社会や自然について広い視野を持って生涯学び続ける礎を得、持続可能な社会作りにも貢献できるようなるためのものです。本学群では授業に限らずこれらの学びをお手伝いします。なぜお手伝いか。それは皆さんが学びの主役だからです。大学合格で得たものは、学ぶ権利です。大学修了者≠学士の候補者である「学生」には自ら学ぶことが求められます。さまざまな授業形態や進級・卒業要件などの情報を整理して計画を立て、答えのない質問や習っていない事項も、自分で調べ考えなければなりません。教わるのを待たず、自らが主役として学ぶ意識が必要です。しかし、皆さんは一人ではありません。教職員や大学の設備がみなさんを脇役として支えます。学びたいこと、工夫もしています。主役として遠慮なくのびのびと、新たな学び、新たな出会いを楽しんでください。

学生支援部長からのメッセージ

陽射し溢れる桜の季節になると思い出すことがあります。大学生として独り暮らしを始めるための引越の日でした。手伝ってくれた父と遅い朝食をまた一つ子供が成長することへの喜びと寂しさと不安が隠れていたのに、あの日の私は気づきませんでした。

新入生の皆さん、そしてご家族の皆様の中には、新しい生活を前に期待と不安が入り混じっていることだと思います。でも、まずは安心して大学を頼って下さい。本学では、学生支援課・就職支援課・学生相談室・学修支援センター・健康管理センターなどが連携して、皆さんの大学生としての生活をしっかりと支えていきます。



邂逅の春に

学生支援部長・教授 中野 道王

大学生活は、皆さんが想像するより短いことでしょう。その時間を大切に、様々な出会いと体験を楽しんでください。大学で学べることは、学問だけではなく、委員会・クラブ・サークルなどの学生活動や、教職員や友達との交流を通じて、豊かな人間性の涵養にも努めて欲しいと思います。

私たちが皆さんの大学生生活をサポートします!!



学生相談室 川合 耕一郎

学生生活で生じるさまざまな悩みについて、心の専門家が一緒に解決の糸口を探します。状況に応じて、対面相談だけでなく遠隔相談にもお応えしますので、ひとりで抱え込まずにぜひご相談ください。保護者からのご相談にもお応えしています。



学修支援センター 岩崎 利信

学修支援センターは「分からないところをそのままにしない」を合言葉に、学習指導、履修方法、生活全般の相談に対応しております。何かありましたら本センターに来てください。チューター、スタッフと一緒に解決しましょう。



学生支援課 齊藤 望

学生支援課は、学生証・学割証・奨学金の事務取扱のほか、学生自治会やクラブ活動の支援も行っています。

多数の友人を得ることが大学生活の醍醐味です。皆さんもぜひクラブ活動に参加して生涯の仲間を得てみませんか？



教務課 穴井 正洋

教務課は、これから皆さんが4年間の学生生活を安心して学業に取り組むことができるようにサポートします。

学業に関して疑問や不安に思うことがありましたら、一人で悩まずに、気軽に教務課に相談してください。



就職支援課 塩入 修

未来の自分は、あなた自身が作るもの。未来は今後の過ごし方によって大きく異なります。より良い人生を過ごすためには、多くの人に出会い、様々な体験を積み重ねましょう。

スタッフ一同、あなたの就職活動を支援します。



LCセンター 黒津 高行

20万冊の図書と魅力的な空間を持つ施設です。スマホに時間を奪われがちの日常ですが、授業の合間に穏やかで静かな環境の当館で本や雑誌を開いてみませんか。さらなる知識や教養、集中力や判断力を身に付けることが期待できます。(https://library.nit.ac.jp)



スチューデントラボ 櫛橋 康博

スチューデントラボは、「ものづくり」の場として全学科の皆さんが利用できる施設です。機械加工・電気電子工作・木材加工などに必要な設備や工具類を豊富に揃えています。専門のスタッフが相談にのりますので、皆さん積極的に活用してください。



健康管理センター 丸山 三四四

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置、運動指導を担当します。原則毎週水曜日には、校医による健康相談も実施していますので、気楽にお越しください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行します。



NITクリエイト 西垣 昌彦

NITクリエイトは、学生食堂・売店の運営、さらにはアパート斡旋、資格取得支援、保険代理店、学内の清掃・警備等の業務を行っており、学生の皆さんが充実したキャンパスライフを送れるようサポートします。詳細はHPをご覧ください。



財務課 鈴木 史朗

財務課は、学費収納及び経理全般に関する問い合わせを受付しています。また、今般のコロナ禍の影響による学費等の納付期限につきましても、随時相談を受け付けております。皆さんの学生生活が充実するよう全力で支援、サポートいたします。



総務課 杉村 京子

総務課では、入学式や卒業式などの行事・式典に関すること、保護者の皆様で組織されている後援会に関することなどを扱っています。「総務課」の名称の通り、どんなことでも受け付けていますので、困ったことがあったら、遠慮なくご相談ください。



英語教育センター 池添 泰弘

英語教育センターは、大学の自慢の施設の一つです。外国人が常について、いつでも英会話の練習ができ、DVDや雑誌や本もたくさんあります。楽しんでいくうちに自然に英語に慣れてくるでしょう。百聞は一見に如かず。是非、遊びに来てください。

学生自治会中央執行委員長からのメッセージ

己の成長の為に



建築学科4年 淵上 晃介

新入生の皆さん、我々学生自治会は皆さんの入学を心より歓迎いたします。新しく始まる大学生活に期待や不安で胸がいっぱいだと思いませんか。大学生活は高校までとは大きく異なる、様々なことに自分一人の考え、判断で出来る事が格段に増えます。是非これを機会にアルバイトや課外活動、資格の取得など新たな物事にチャレンジしてみてください。また、自分で行動するという事

はそれだけ責任が伴うという事です。その中で活動する事により、人間として大きく成長できます。これから大学生活を送る中で様々な事を経験すると思います。楽しい事だけではなく辛い事もあるかもしれません。しかし、どの経験も自分自身を大きく成長させてくれます。決して挫折せず、立ち止まらないでください。どうしても辛い時、困った時は仲間や先輩を頼ってください。きっと手を差し伸べてくれるでしょう。我々、中央執行委員会や学生自治会全体も新入生の皆さんに寄り添えるよう活動します。最後になりますが今後の4年間が充実したものなることを願います。新入生歓迎の言葉と致します。

専門職大学院だより

コロナ禍が生んだ「複合授業」

大学院技術経営研究科 研究科長 教授 小田 恭市

周知のとおり、我が国では新型コロナウイルス感染症パンデミックに対処するために、人と人との密な接触を減らす「3密対策」等が求められています。企業では人と人との接触機会を減らすため、業務の体系化・標準化の推進とともに、業務のIT化による合理化とオフィスの分散化が進められています。この業務の体系化・標準化は、会社におけるIT化のみならずDX (Digital Transformation) な経営革新に大きく貢献するものと期待されます。反面、予期していなかった人との多様な出会いは激減しており、新たなビジネス機会の喪失、新たな市場創造・事業創造の遅れが危惧されます。本研究科では、新型コロナウイルス感染症への対策のため、授業は対面からオンラインへと移行させてきました。その過程で院生の多様な受講ニーズに応えられるような「複合授業」の試行も進めてまいりました。この「複合授業」は、自宅や勤務先等でオンライン受講したい院生、キャンパスで教員や院生と一体になって対面授業で受講したい院生等のニーズを同時に満足させるものです。現実的には対面授業の出席日数を定めますが、ある意味でオンライン授業と対面授業の良いところ取りしたのとも言えます。この「複合授業」を実施することによって、多様な受講ニーズに対応できることに、地方の中堅・中小企業における技術経営人材の育成ニーズにも応えられるようになります。「複合授業」は、本研究科が目指す「中堅・中小企業の教育・支援・研究の総合的拠点」の形成に大きく貢献するものと期待されます。今後、教育効果を一層高められるような「複合授業」を目指して、教職員が一体となって改善・改良に努めたいと思います。

日本工業大学学業奨励奨学金(新2・3・4年生) 大川陽康奨学金受給者

学業奨励奨学金は学業成績・人物ともに優秀な学部生を対象とし、エクセレントスチューデントに年間50万円、リマーカーブルスチューデントに年間20万円が給付される。大川陽康奨学金は同じく大学院生を対象とし、年間20万円が給付される。

2021年度 日本工業大学学業奨励奨学金受給者

エクセレント スチューデント			
年次	2年次	3年次	4年次
学部	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)
基幹工学部			
先進工学部			
建築学部			

リマーカーブル スチューデント			
年次	2年次	3年次	4年次
学部	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)
基幹工学部			
先進工学部			
建築学部			

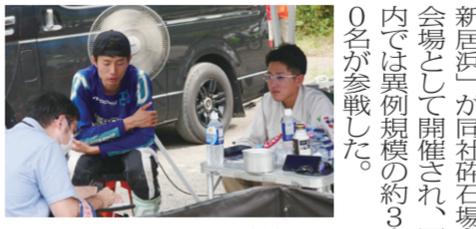
2021年度 日本工業大学大川陽康奨学金受給者

専攻	氏名 (出身校)	専攻	氏名 (出身校)
機械システム工学		電子情報メディア工学	
環境共生システム学		建築デザイン学	
電子情報メディア工学			



約300名のライダーが集結し、熱いレースが繰り広げられた

の無茶や事故に繋がっている現状を課題解決と収益を旨とするプランを提案した。卒業後は愛媛県新居浜市の西日本砕石株式会社に入社し、業務のかたわら自身



レースを企画した岡さん (右)

コロナ禍の子供たちを励まし、理工学への興味を喚起しようと「ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、



画面を通じてアドバイスを行う学生スタッフ

今回の小学生延べ21名と保護者が参加した。「学生の皆さんが楽しい教室にしていただき、ありがとうございます。」という間の1時間だった。「オンライン工作は保護者も参加しやすい」と好評であった。コロナ禍オンラインであっても効果的な実習が可能であることを示した。

のヒヒント!?とどこも馬工作」ではモーターなどの動力無しで坂を下る「ゴキウ」馬を製作、歩行の仕組みを学んだ。今回は小学生延べ21名と保護者が参加した。「学生の皆さんが楽しい教室にしていただき、ありがとうございます。」という間の1時間だった。「オンライン工作は保護者も参加しやすい」と好評であった。コロナ禍オンラインであっても効果的な実習が可能であることを示した。

卒業生のビジネスプランが実現 「シコクベルグ」

2017年に本学で行われた第12回ビジネスプランコンテストにおいてグランプリとなる学長賞を獲得したプラン「砕石場をオフロードカー、オフロードバイクの聖地に自由な趣味が堪能できる遊び場へ」が実現

が砕石場で走行している様子SNSで発信した。更に四国地域のオフロードレースに参加し、ネットとリアルの双方で人脈を広げつつ事業化への挑戦を続けた。その過程で生まれた地元のパイオニア経営者や、国際的オフロードライダー石戸谷選手等との繋がりが結果として公道や山道

ロボットを学ぶ オンライン工作教室

コロナ禍の子供たちを励まし、理工学への興味を喚起しようと「ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、ロボットを学ぶオンライン工作教室」が2月13日、

電子情報通信学会 オンラインポスター賞

1月21日、平栗研究室所属の大学院生、学生が電子情報通信学会の各賞を受賞した。最優秀オンラインポスター賞は2名。電子情報メディア工学専攻博士後期課程3年の設楽勇さんの受賞課題は「三次元クロスレイヤシミュレータの開発」。空間における無線ネットワーク構築に関する研究で、これまでの評価が難しかった建物による電波の反射や回折を含めた通信品質の統合的評価が可能となる。同専攻博士前期課程1年の福山英亮さんの受賞課題は「ドローン蜂による受粉可能な花検出の検討」。農業における人の感覚や経験を機械が再現することを目的として、ディープラーニング(機械学習を

保護者のための就職ガイダンス
 学部2年・3年生 大学院1年生の保護者対象
5/22(土)
 会場:5号館3
 入場無料
 詳細はWEBサイトをご覧ください

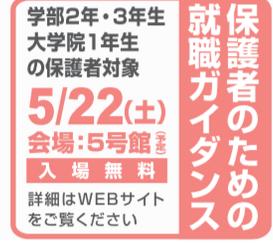
- ◆ 名譽教授任命 (4月1日付)
- ◆ 竹内貞雄教授
- ◆ 古閑伸裕教授
- ◆ 黒津高行教授
- ◆ 任用 (4月1日付)
- ◆ 弓削徹教授 (専門職大学院)
- ◆ 小林克准教授 (専門職大学院)
- ◆ 呉本亮教授 (先進工学部情報メディア工学科)
- ◆ 荒川俊也教授 (先進工学部情報メディア工学科)
- ◆ 大出明教授 (学修支援センター)
- ◆ 橋本秀一教授 (産学連携起業教育センター)
- ◆ 筒井研多教授 (産学連携起業教育センター)
- ◆ 小池隆司准教授 (基幹工学部応用化学科)
- ◆ 高津洋貴准教授 (先進工学部)

- ◆ 内藤貴仁専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 任命 (4月1日付)
- ◆ 大学院技術経営研究科 長 小田恭市教授
- ◆ 大学院技術経営研究科 副研究科長 三宅将之教授
- ◆ 工学部情報メディア工学科) ↓ 助教に昇任
- ◆ 野口憲治助手 (建築学) ↓ 助教に昇任
- ◆ 異動 (4月1日付)
- ◆ 関根路代専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 佐藤由佳専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 南合泰良専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 堀内淳専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 櫻井芽衣子専任教育講師 (共通教育学群) ↓ 講師
- ◆ 池添泰弘教授
- ◆ スチューデントラボ所長 兼 柳橋康博准教授
- ◆ LCセンター 長 兼 黒津高行教授
- ◆ 産学連携起業教育センター 長 兼 古閑伸裕教授
- ◆ インテリアデザインラボ所長 兼 足立真教授

- ◆ 総合研究センター 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 先端材料技術研究センター 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 工業教育研究所 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 教職教育センター 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 学修支援センター 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 英語教育センター 長 兼 渡部修一教授
- ◆ 池添泰弘教授
- ◆ スチューデントラボ所長 兼 柳橋康博准教授
- ◆ LCセンター 長 兼 黒津高行教授
- ◆ 産学連携起業教育センター 長 兼 古閑伸裕教授
- ◆ インテリアデザインラボ所長 兼 足立真教授
- ◆ 人と暮らしの支援工学センター 長 兼 山地秀美教授
- ◆ 高大連携プロジェクト 室長 兼 宮原浩教授
- ◆ 総務部副部長 兼 望月肇
- ◆ 総務部付課長 川島信也
- ◆ 入試室課長 江原慎一
- ◆ 学生支援課長 齊藤望
- ◆ 教育研究推進室課長 大塚竹郎
- ◆ IIR室課長 村上隆之
- ◆ 施設環境管理課長 補佐 国松俊彦
- ◆ 学生支援課主事 鈴木良裕
- ◆ 施設環境管理課主任 虎口穂隆
- ◆ 教務課主任 森田るみ
- ◆ 入試室主任 小笠原直範
- ◆ 学生支援課主任 武井孝
- ◆ 企画広報室主任 水谷耕平
- ◆ IIR室主任 沖田次朗
- ◆ IIR室主任 津留広明
- ◆ 日本高等教育評価機構へ 出向
- ◆ IIR室主任 井上直
- ◆ 企画広報室に異動
- ◆ 白田昌弘財務課職員 ↓ 就職支援課に異動
- ◆ 田中瑞樹学生支援課職員 ↓ 財務課に異動

宮代町のSNSを要チェック!
 新入生の皆さん入学おめでとうございませう。自然環境に恵まれた宮代町で、これからの大学生活を大いに楽しんでください。
 町の情報は、公式ホームページのほか、ツイッターやLINEで発信しています。観光情報や暮らしの情報、四季折々の風景など、ホームページだけでは伝えられない情報をお届けします!
 おススメは「今日の一枚」。その日に気になった風景を撮影しています。学校帰りに足伸ばして今日の宮代を体感してみてくださいか。

人事異動
 【名譽教授任命】 (4月1日付)
 ◆ 竹内貞雄教授
 ◆ 古閑伸裕教授
 ◆ 黒津高行教授
 ◆ 任用 (4月1日付)
 ◆ 弓削徹教授 (専門職大学院)
 ◆ 小林克准教授 (専門職大学院)
 ◆ 呉本亮教授 (先進工学部情報メディア工学科)
 ◆ 荒川俊也教授 (先進工学部情報メディア工学科)
 ◆ 大出明教授 (学修支援センター)
 ◆ 橋本秀一教授 (産学連携起業教育センター)
 ◆ 筒井研多教授 (産学連携起業教育センター)
 ◆ 小池隆司准教授 (基幹工学部応用化学科)
 ◆ 高津洋貴准教授 (先進工学部)



左より遠藤さん、設楽さん、福山さん

が受賞。受賞課題名は「鳥獣害対策に関する飛行生物のリアルタイム識別手法の一検討」。画像処理の簡易技術として、部分画像による類似性の比較と動体検出を組み合わせ、飛行する鳥の個体をAIで識別する技術を提案。鳥獣被害対策への活用などが期待される。

活用したドローンによる人工授粉技術を研究した。優秀オンラインポスター賞は電気電子通信工学科3年の遠藤啓太さん